

2009 年 1 月 27 日

中曽根弘文外務大臣殿

社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

パレスチナ・ガザ地区における恒久的停戦を求める声明

昨年末にガザ地区で始まった武力衝突はこれまで、子どもや女性を含む多数の犠牲者を生みだしてきました。

緊急支援および国際協力に携わる私たち NGO は、すべての当事者による停戦を歓迎すると同時に、この停戦が恒久的な停戦となること、現在および今後の人道支援活動に対する一切の制限が撤廃され、負傷者、文民に対する国際人道法の厳格な適用が行われるよう、日本政府が当事者間交渉および国連等を通じた多国間交渉を通じて積極的に働きかけることを求めます。

また、今後本格化する現地での緊急・復興支援活動に対して、一層の資金的・技術的支援を提供することを日本政府に求めます。

【賛同団体】

財団法人日本フォスター・プラン協会（プラン・ジャパン）
イルカ&クジラ・アクション・ネットワーク
エルザ自然保護の会
リリオの会
関西市民の会
日本キリスト教婦人矯風会
シビックアクション千葉
生物多様性フォーラム
グローバルピースキャンペーン
難民自立支援ネットワーク・REN

NPO 法人 エコ・コミュニケーションセンター（ECOM）

地域国際活動研究センター

ワールド・ビジョン・ジャパン

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

特定非営利活動法人日本紛争予防センター

特活 災害人道医療支援会（HuMA）

国際環境 NGO FoE Japan

国際子ども権利センター（シーライツ）

【賛同者（個人）】

小林孝男（尚綱学院宗教主任）